



インド太平洋地域における協力のためのEU戦略

アフリカの東海岸から太平洋諸島諸国までを包含するインド太平洋地域は、欧州連合（EU）が長きにわたり、パートナーたちと広範かつ包括的な関係を享受してきた地域である。2021年4月に発表された新しい戦略は、民主主義、法の支配、人権および国際法の促進に基づき、インド太平洋地域の安定、安全、繁栄および持続可能な開発への貢献を目的に、EUをあらためて同地域に対し政治的に関与させるものだ。

インド太平洋地域はEUの経済成長に不可欠であり、EUは同地域にとって主要なパートナーである

インド太平洋地域は

世界の国内総生産（GDP）のほぼ
60% を生み出している



EU以外の四大経済大国のうち3つ（中国、インド、日本）を擁す

世界の経済成長の3分の2に
貢献している



デジタル経済と技術的発展の最先端にある

2030年までに、世界経済に参加する24億人の新たな中流層の圧倒的
大多数**90%**の住処となる



国際的バリューチェーンや貿易・投資の流れの中核にある

…そしてEUは

この地域にとって最大の投資者、最大の援助提供者、最大の貿易相手である。

EUは既に、インド太平洋地域と積極的に関与している

インド太平洋地域における協力は、国連の持続可能な開発目標の達成を含む、国際的課題の実行に不可欠である。

欧州とアジアはまた、互いの人々の幸福に向け、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後のグリーンかつ持続可能な社会経済的復興のために今、力を合わせなければならない。

何年にもわたりEUは一貫して、以下のような分野において、同地域に相当な貢献をしてきた。



開発協力や人道援助



気候変動・生物多様性の損失・汚染との闘い



パートナーシップ協定や貿易協定の締結



防災










人権や航行の自由を含む国際法の順守

インド太平洋地域の安定はEUおよび世界にとって重要

同地域は地政学的競争や領土・領海をめぐる紛争などで緊張の高まりに直面する一方、地域の安全保障構造を有していない。世界の海上貿易の6割は同地域を通り、そのうち3分の1は南シナ海を通過する。インド太平洋地域の航路は自由かつ開かれた状態であり続けなければならない。

インド太平洋地域における協力のためのEU戦略は、以下を含む多くの分野でEUに協力強化を可能にする。

 海洋ガバナンス	 地域機関の強化
 研究・技術	 多国間での協力増進
 コネクティビティ (連結性)	 気候変動のような地球規模の課題への取り組みの促進
 保健	

安全保障と防衛

EUは、海上領域認識向上のためのパートナーの能力構築を通じて重要な航路を保護していく。

EUは、インド太平洋地域の海軍部隊と海賊対処活動にあたるEU海軍部隊アタランタ作戦の間の共同訓練や共同寄港を増やしていく。

EUは、EU共通安全保障・防衛政策下の軍事・文民ミッションへのパートナーの参加拡大を促していく。

EUは特定のパートナーとテロ対策、サイバーセキュリティ、海洋安全保障および危機管理の分野での協力を強化していく。

EUはより多くのパートナーを含めるよう、自身の安全保障・防衛対話の拡大を目指し、ASEAN地域フォーラムとの関与を強めていく。

インド太平洋地域におけるEU海軍の意味ある存在は、将来的に重要と認識されている。

この戦略は排他的でない、幅広い取り組みに基づいている

EUは、目的を共有する全てのパートナー国と、パートナーが共通の理念、価値または相互利益に基づいて一致点を見出すことのできる特定の政策分野に沿って、協力していく決意である。

EUは、インド太平洋地域への自身の取り組みを公表している他のパートナーと、共通の目標である安定と繁栄に向けた相乗効果を強化すべく、力を合わせていく。